

令和8年3月25日

豊川市議会議長 神谷謙太郎 様

市民文教委員長 中川 雅之

### 市民文教委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務についての調査結果を報告いたします。

#### 1 調査項目

- (1) 中学校部活動の地域展開について
- (2) 岡山芸術創造劇場「ハレノワ」について

#### 2 調査内容

別紙<調査経過>のとおり

#### 3 調査結果

##### (1) 中学校部活動の地域展開について

###### ①本市の状況

本市では令和9年度の3年生の活動終了後から土曜・日曜・祝日における部活動を廃止することが決まっており、これらの休日に中学生を指導していただける方を確保していく必要があります。この際、地域スポーツで指導している方を始め、スポーツ協会、企業などの指導実績のある方や団体に中学生を指導していただきたいと考えている。

###### ②先進都市の状況（兵庫県姫路市、兵庫県伊丹市）

少子化の進行、教員の長時間勤務の常態化、生徒の興味関心の多様化等を背景として、従来の学校部活動は持続可能性の観点から大きな転換を迫られている。国においては、スポーツ庁及び文化庁がガイドラインを示し、休日部活動の段階的な地域移行を全国的に進める方針を打ち出している。

教員の負担軽減と生徒の活動機会の確保を両立させる観点から、その在り方について検討を進めているところであるが、受け皿となる地域団体の確保、指導者の養成及び資質の担保、費用負担の在り方、安全管理体制の整備など解決すべき課題は多岐にわたっている。

こうした状況を踏まえ、先進的な取組を進める兵庫県の姫路市及び伊丹市を視察した。姫路市においては、学校、行政、地域団体等が参加す

る協議体を設置し、関係者間の合意形成を重ねながら段階的な移行を進めている。既存の地域スポーツ団体等を活用しつつ、急激な制度変更による混乱を避け、持続可能な体制を構築しようとする姿勢がうかがえた。

制度設計においては、地域の実情を踏まえた慎重な進め方が重要であることが示された。

一方、伊丹市においては、令和8年度中に学校部活動を終了し、地域クラブ活動へ全面移行するという明確な方針を掲げている。同市では、「登録地域クラブ」と「届出地域クラブ」の二類型を設け、責任主体及び活動場所を整理するとともに、教員のみならずNPO法人、民間事業者、地域団体等、多様な担い手の参画を促している。

また、生徒のニーズの変化を踏まえ、従来型の競技中心の活動のみならず、楽しみや交流を重視する活動を含めた多様な選択肢を提示している点は注目に値する。加えて、保護者説明会の開催や相談窓口の設置など、制度移行に伴う不安の軽減に努めている姿勢も印象的であった。

しかしながら、両市に共通する課題として、指導者の資質確保、安全対策、団体認定基準の明確化などが挙げられており、新制度における責任の所在やリスク管理の在り方については、引き続き慎重な検討が必要であることが確認された。

以上の視察を通じて明らかとなったのは、地域移行は単なる教員負担軽減策ではなく、地域全体で子どもの成長を支える新たな仕組みへの転換であるという点である。本市においても、地域の実情を十分に踏まえ、拙速な結論に至ることなく、丁寧な説明と合意形成を重ねながら、段階的かつ持続可能な制度設計を進めることが求められる。

### ③総評

姫路市、伊丹市ともに時間をかけて、しっかりとした制度設計を丁寧に進めて成果を上げている印象を受けた。ホームページで各スポーツ種目や文化活動ごとに、幅広く数多い地域クラブの情報を紹介している、活動内容もスポーツクラブでは野球やテニスなどこれまで学校部活動で行われていたものの他、ゴルフやダブルダッチ、ローラースケートボーリングなど幅広い。

文化芸術活動も吹奏楽や美術など多彩で、会費が伴うものの、従来に比べて子どもたちが「これならやってみたい」という活動が見つかる可能性が広がると感じられた。この点で、これまでの学校部活動との差別化、多様性が十分確保されており、事業の見通しも明るいものだと感じることができ参考となった。

## (2) 岡山芸術創造劇場「ハレノワ」について

### ①本市の状況

4 文化会館いずれも老朽化が進んでおり、近年は緊急的な修繕をすることが多くなっているため、建物や設備の修繕などの経費の増大が懸念される状況で、文化会館等の運営管理の方向性などについて検討をしている。

### ②先進都市の状況（岡山県岡山市）

岡山市では、老朽化した市民会館及び文化ホールを統合し、市街地再開発事業と一体的に新劇場を整備した。同施設は「魅せる」「集う」「つくる」を理念に掲げ、大劇場・中劇場・小劇場を備える複合的な文化芸術創造拠点として位置付けられている。設計段階から劇場コンサルタントや指定管理者の技術部門が参画し、専門的知見を取り入れて整備を進めた点は特筆すべきである。

また、旧施設の解体に当たっては、市民への丁寧な説明、記念誌の発行、VR による公開など、これまでの歴史や市民の想いに配慮した取組がなされていた。施設整備は単なる建築事業ではなく、市民の記憶や地域の歴史と深く結びつくものであることを改めて認識したところである。整備後は人流の増加や周辺商店街のにぎわい創出など、一定の経済効果も確認されている。一方で、土地制約に起因する施設構造上の課題や、利用率向上に向けた取組など、運営面での検討課題も存在している。

本市においては、公共施設の老朽化が進行する中、今後の再編・集約の在り方が大きな行政課題となっている。岡山市の事例は、文化施設整備においては明確な理念と長期的視点が不可欠であり、専門的知見の導入及び市民への丁寧な説明が重要であることを示している。本市とは規模及び財政条件が異なるものの、その基本的な考え方は十分に参考となるものである。

### ③総評

「ハレノワ」は市街地再開発組合主導のマンション・オフィスビル市街地再開発に市の文化施設整備が組み込まれる形で実現した。

土地制約により駐車場が無く劇場の大きさや数に対してロビーの狭さなど、設計に制約があったと思われる。

本市としては施設には駐車場が必要であり、自治体の規模や文化が違う事など、今回の岡山市とは大きく異なる部分もあるが市民にとって何が大切か丁寧な説明、また利用料等の市民が利用しやすい工夫や、設計段階からの現場のスタッフ等、専門家の関与の重要性などは参考になると考える。

#### 4 市民文教委員会からの提言

##### (1) 中学校部活動の地域展開に関する現状と提言

部活動の地域展開については、教員の業務負担軽減と子どもたちの多様な活動機会の確保の観点から、本市においても今後具体的な制度設計が求められる、その推進にあたっては。

- ・ 明確な移行スケジュールと段階的实施
- ・ 保護者及び生徒への十分な周知と説明
- ・ 地域団体、民間事業者、NPO 等との連携強化
- ・ 指導者の資質確保及び安全対策の徹底

を基本とする体制整備が必要で特に、指導者の確保及び不適切事案の未然防止については、認定基準の明確化と適切な監督体制の構築が不可欠であり、市が一定の関与と責任を持つ仕組みづくりが求められる。

##### (2) 公共施設整備に関する現状と提言

本市においては、今後、公共施設の再編・集約化を計画的に進めていく必要がある。その際には、単なる施設更新にとどまらず、将来の人口動態や財政見通しを踏まえた中長期的視点での検討が不可欠である。特に次の事項が重要であると考えます。

第一に、基本構想・基本設計の段階から専門的知見を有する外部有識者や実務経験者を参画させ、機能性・安全性・将来負担を総合的に検証する体制を構築すること。

第二に、市民に対する丁寧かつ継続的な説明を行い、意見を十分に聴取したうえで事業を進めることである。とりわけ、長年親しまれてきた施設の統廃合に際しては、市民感情に十分配慮し、記録保存や意匠の継承等、可能な限りその歴史的価値を次世代へ伝える工夫が求められる。

第三に、本市の都市構造を踏まえ、十分な駐車場確保や交通動線の整備など、利用者の利便性を最優先に考慮することである。

また、施設規模については、過大投資とならぬよう「身の丈に合った規模」とし、維持管理費を含めたトータルコストの縮減を徹底することが重要である。

## 5 総括的提言

今回の視察を通じて得られた最も重要な示唆は、いずれの自治体においても「将来を見据えた持続可能性」と「丁寧な合意形成」を重視している点である。本市においても、施策推進にあたっては。

- ・ 事業の必要性と目的を明確にし、市民と共有すること
- ・ 財政負担及び将来世代への影響を十分に検証すること
- ・ 専門的知見及び民間活力を積極的に活用すること
- ・ 持続可能な運営体制を構築すること

を基本姿勢として取り組むべきである。自治体規模の違いにとらわれることなく、本市の実情に即した制度設計を行い、市民が安心して利用できる公共サービスの提供を将来にわたり確保していくことが、今後の重要な課題である。文化施設の再編・整備に当たっては、市民の理解と共感を得られるよう説明責任を尽くし、専門的知見を取り入れた長期的視点のもとで慎重に検討すること。

別紙

<調査経過>

令和7年6月19日（木）

「調査事項、視察項目の決定」

令和7年7月29日（火）～7月31日（木）

視察の実施

29日 兵庫県姫路市 中学校部活動の地域展開「姫カツ」について

30日 兵庫県伊丹市 中学校部活動の地域展開について

31日 岡山県岡山市 岡山芸術創造劇場「ハレノワ」について

<意見交換会>

令和8年3月11日（水） 委員会終了後